

皐月 愛南文芸

篠南川柳会

壽司飯の味が決らず満腹に
 大家族舵とる母は楽天家
 縁あつて苦楽をともに五十年
 母入院少し楽だが心配だ
 失敗も気にしてない楽天家
 楽々と孫をさし上げ爺元氣
 大家族気配る嫁が居て安堵
 食べ切れず近所へ配る自家やさしい
 好きな物最後に食べる楽しみに
 さわらび短歌会
 明日より休校となる子どもらの
 瞳に読み聞かす新美南吉
 マスク手に入らぬ東京の姪のため
 不織布裁ちてマスク縫いゆく

安子
 さつき
 保美
 みち子
 ちずる
 千代子
 すみ子
 モツチャン
 清子
 前田 充
 松本 マス子

ウイルスは姿の見えぬテロリスト
 息をひそめて過ぎゆくを待つ
 マスク用のゴムも売りつくし客もなく
 コロナウイルス続く日々
 山並みに影をおとして夕暮るる
 風車は雲の陰り帯びゆく
 大半は若者たちなる茶店にて
 買物よりかへる老妻を待つ
 梅開き寒さと和らぐ午後の庭
 あるかなさかの香り楽しむ
 宮崎の姉の葬儀には行くと云ふ
 車イスの夫を論じて哀しき
 ウイルスにおびやかさるる今の世に
 特効薬もワクチンもなく
 コロナウイルス騒がしい世の春の日に
 何くわぬ顔して山桜咲く

岩村千代子
 河上 明美
 水野美代子
 藤井 擴
 澤近 正弘
 前田 知子
 前田 昭夫
 野崎 幸子

エプロンに蕨つつみて帰り来て
 卵とじせんと灰汁ぬきをする
 菊川俳句会
 姉の持つ雛は雅な御殿住
 競り声の響く食堂初鯉
 振り返へる君に葉桜の葉あり
 ひとひらの桜の行方明日想ふ
 春風と四人の校歌大空へ
 蒲公英の咲いた正門おでむかえ
 うぐいすや出会いは奇跡同級生
 脳のしわ透けてレタスのらつたつた
 通学路なつかしき道つばくらめ

扇野八代生
 村尾加都子
 中川 一喜
 鶴川 裕子
 安岡留美子
 兵頭 嘉寛
 兵頭 大嘉
 兵頭 海音
 浅野 海音
 浅野 迦恋

はじめまして。赤ちゃん。

3月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

3月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。